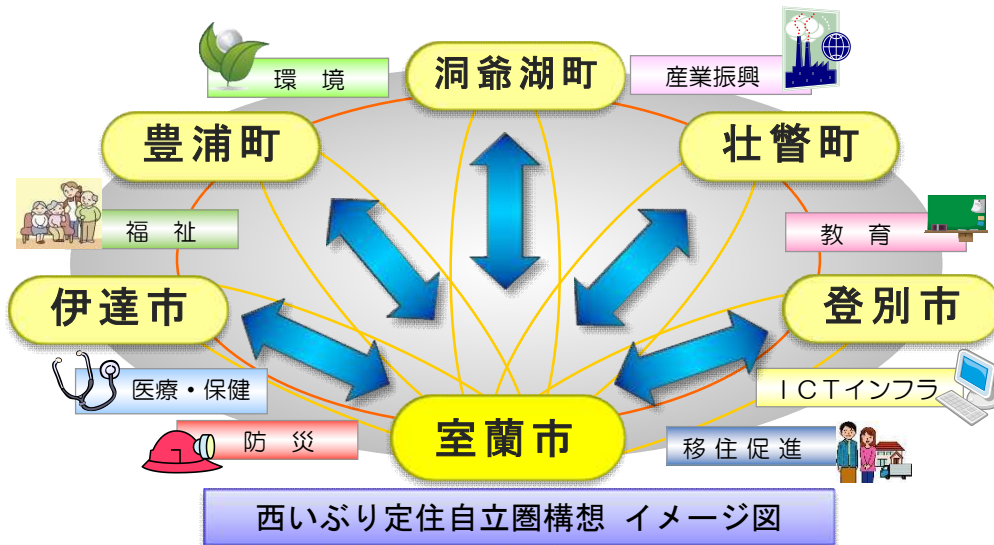


西いぶり定住自立圏構想の推進

■ 現 状

西いぶり圏域では、国が進める地域連携の新たな手法である、定住自立圏構想を推進しており、平成21年に室蘭市が中心市宣言を行い、翌年西いぶり管内5市町との間において定住自立圏形成協定を締結、平成23年度より具体の事業計画である「西いぶり定住自立圏共生ビジョン」に基づき、関連事業を行っている。

ビジョンの計画期間である5年目を迎えた平成27年度、新たな連携分野を追加するなど形成協定を変更、平成28年度からの新たな共生ビジョンの改訂を行い、構想の更なる推進に取り組んでいる。



■ 課 題

- 構想推進にあたっての国からの支援は特別交付税措置が主となっており、財源が不安定である。
- 措置上限額については、平成26年度に拡充が図られたものの、中心市と周辺市町の差が大きく、一体となった取り組みに支障がある。

■ 要 望 内 容

- 定住自立圏構想推進の継続とともに、近隣市町への特別交付税措置の上限額引き上げなど財政支援措置の充実

■ 事 業 効 果

- 少子高齢化などによる人口減少に対応し、安心して住み続けることができる地域づくりと、圏域の経済的自立。